申告は20日まで

38年度 県・市民税

人口の動き

人口	50,090
男	23,883
女	26,207
世帯数	9,615

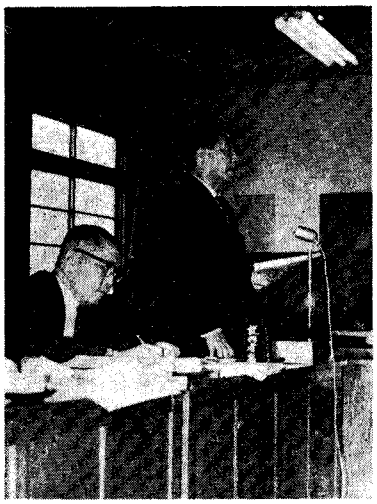
市報とおかまち

昭和38年3月15日（金曜日）　定価一部 5円　発行 毎月15日　発行所 十日町市役所

昭和38年 3月号

昭和32年6月5日 第三種郵便物認可

38年度市長施政方針



写真は施政方針を述べる村山市長

私は市長就任後四ヵ年一貫して十日町市の後進性脱却のため努力を続けて参りました。幸い市議会をはじめ、市民多数の御指導と御協力により、昭和三十五年三月二十五日には、長駐行きの悲願が沿線住民の協力により実現し、更にジーゼルカーの増車による大巾な改善が見られております。次に北陸線（上越西線）の建設につきましては、昨年の施政方針の際にも、田中角代議士の努力、塚田県知事の援助により状勢が明るいと申しあげましたが、みなさんにすでにご承知のように、十日町市の後進性脱却を図る根源は交通整備を中心とする社会資本の充実と豪雪対策であります。

交通整備に努力

先ず交通整備につきましては市長就任以来特に重点的に取り組んで参りましたが、幸い飯山線の改善につきましては、昨年市議会をはじめ、市民多数の御指導と御協力により、昨年三月二十五日には、長駐行きの悲願が沿線住民の協力により実現し、更にジーゼルカーの増車による大巾な改善が見られております。次に北陸線（上越西線）の建設につきましては、昨年の施政方針の際にも、田中角代議士の努力、塚田県知事の援助により状勢が明るいと申しあげましたが、みなさんにすでにご承知のように、十日町市の後進性脱却を図る根源は交通整備を中心とする社会資本の充実と豪雪対策であります。

後進性脱却のための豪雪対策

次に十日町市後進性脱却の決定的なガンになっている豪雪対策について申しあげます。この対策については、一昨年中越地方を中心に襲った豪雪により、漸く認識が高まり、災害基本法の成立を促し、更に昨年の道路網の振興には特に努力をいたし、また特に教育各懸諸事業の推進に意を配りました。昭和三十八年度は、第二次五ヵ年計画の最終年度にあたるので、計画の完全実施のために特に努力しました。その結果、

第一回定例市議会

まず産業の振興

教育内容の充実に重点

国、県、市道の整備も

十日町市の第一回定例市議会は去る八日から開かれ、二十三日までの日程で昭和三十八年度の予算案など三十三議案の審議に入りましたが会期二日目の九日午前十時から村山市長は新年度予算編成にあたり市民所得の向上並びに民生安定の向上に力を入れ資本的経費の増大と重点施策の推進に全力を尽すと強調し施政方針の大要を次のとおり述べました。

十日町市の後進性脱却のため、市民多数の御指導と御協力により実現し、更にジーゼルカーの増車による大巾な改善が見られております。次に北陸線（上越西線）の建設につきましては、昨年の施政方針の際にも、田中角代議士の努力、塚田県知事の援助により状勢が明るいと申しあげましたが、みなさんにすでにご承知のように、十日町市の後進性脱却を図る根源は交通整備を中心とする社会資本の充実と豪雪対策であります。

次に昭和三十八年度の予算編成にあたりましては、国県予算案三十八年度に計画されておった市役所庁舎の建築を延し、一方十日町小学校の全面改築、市民体育館の建築、下条小学校屋内運動場の建築、し尿処理場の建設等いずれも五ヵ年計画になかったのですが、あらゆる面から緊急を要するので予算化したわけであります。新年度は、更に第三次五ヵ年計画を審議会の答申を得て策定し、十日町市の発展を期したいと思います。昭和三十七年度は水沢村の合併もあり、現計予算案は一般会計で六億円を超える大型予算となり十日町小学校をはじめ投資的事業の充実に力を注いできましたが、新年度は織物業の不景気により、さて国において市税のうち法人分が大巾に減少することが予想される一方、給与所得の増による税収増が見込まれます。また、子入の二十五%を占め、毎年県下一、二番目に交付金を受けている地方交付税は、政府の地方財政計画によると、相当の伸びが期待されております。また、繰越金に八百万円見込みましたのは、昭和三十七年度特別地方交付税の交付が大巾に増えたためであります。このほか、国庫支出金及び市債の大巾増は、昨年度より認可された辺地対策緊急措置法による分と、し尿処理施設に着手するためであります。このほか財産収入及び寄付金の大巾減は、十日町小学校の用地買収費が完全解決となり、無償譲渡が実現するので、昭和四十年までであると隣の予算はなかなか難かしいのでありますが、国道に関係しました、新年度は樺沢橋、北越線の建設とともに、十日町市民生活のあらゆる面に画期的なる事業を計画するものと期待されます。更に昨年より改修して参りました、リバートンネルの基地につきましては、十二月新会社が創立され、順調に進めば本年中に脱線の見込みであります。この基地が実現すると、特定の乗客便だけでなく、災害防備をも兼ねして十分使用されるものと思います。

38年度予算編成

次に昭和三十八年度の予算編成にあたりましては、国県予算案三十八年度に計画されておった市役所庁舎の建築を延し、一方十日町小学校の全面改築、市民体育館の建築、下条小学校屋内運動場の建築、し尿処理場の建設等いずれも五ヵ年計画になかったのですが、あらゆる面から緊急を要するので予算化したわけであります。新年度は、更に第三次五ヵ年計画を審議会の答申を得て策定し、十日町市の発展を期したいと思います。昭和三十七年度は水沢村の合併もあり、現計予算案は一般会計で六億円を超える大型予算となり十日町小学校をはじめ投資的事業の充実に力を注いできましたが、新年度は織物業の不景気により、さて国において市税のうち法人分が大巾に減少することが予想される一方、給与所得の増による税収増が見込まれます。また、子入の二十五%を占め、毎年県下一、二番目に交付金を受けている地方交付税は、政府の地方財政計画によると、相当の伸びが期待されております。また、繰越金に八百万円見込みましたのは、昭和三十七年度特別地方交付税の交付が大巾に増えたためであります。このほか、国庫支出金及び市債の大巾増は、昨年度より認可された辺地対策緊急措置法による分と、し尿処理施設に着手するためであります。このほか財産収入及び寄付金の大巾減は、十日町小学校の用地買収費が完全解決となり、無償譲渡が実現するので、昭和四十年までであると隣の予算はなかなか難かしいのでありますが、国道に関係しました、新年度は樺沢橋、北越線の建設とともに、十日町市民生活のあらゆる面に画期的なる事業を計画するものと期待されます。更に昨年より改修して参りました、リバートンネルの基地につきましては、十二月新会社が創立され、順調に進めば本年中に脱線の見込みであります。この基地が実現すると、特定の乗客便だけでなく、災害防備をも兼ねして十分使用されるものと思います。

教育は内容の充実へ

第二は、教育の充実であります。過ぎ三ヵ年十日町小学校、大島小学校、三ツ山小学校等の大巾増築続き、経常費の伸びがおさえられてきたが、本年は特に教育内容の充実に重点をおき、予算編成をしました。学校教育振興のため、特に予算科目を新設したほか、学校の消耗品、備品費の配分については特に意を用いるとともに、冬季分校の備品費を新設し、再まれぬ辺地の教育振興を図りました。また給食につきましてはミルク給食の一〇〇パーセント実施を予定しているほか、地元から施設設備費の二分の一負担を願う方針で、関係者と協議中であり、地元の意見がまとまり次第、追加予算でお願いしたいと思っております。

国保は七割給付実施

第四は、社会保障費の拡充であります。保護基準の引上げによる生活保護費、医療扶助費の増額、特別会計では、国民健康保険事業において、世帯主の七割給付を四月一日より実施いたしますが、医療費が二百五十万円増額になりますが、貧乏の皆さんが一度に集まり反情を除去するため、集会を計画しましたので友達大勢とおいでて下さいませ。

青少年のつどい

市教委社会教育課では、この春、市内七中学校を卒業し、就職される人たちと、一年先輩の皆さんが一堂に集まり反情を除去するため、集会を計画しましたので友達大勢とおいでて下さいませ。

◇ところ　西野町織物会館
◇プログラム
開会
母校の歌歌交歓
生活文の発表
市長の激励のことば
講師の話（桑原貞子先生）
くじ引き
映画
母校の歌歌交歓
閉会

◇とき　三月二十四日（日）午後一時～三時半

第四は、社会保障費の拡充であります。保護基準の引上げによる生活保護費、医療扶助費の増額、特別会計では、国民健康保険事業において、世帯主の七割給付を四月一日より実施いたしますが、医療費が二百五十万円増額になりますが、貧乏の皆さんが一度に集まり反情を除去するため、集会を計画しましたので友達大勢とおいでて下さいませ。

◇ところ　西野町織物会館
◇プログラム
開会
母校の歌歌交歓
生活文の発表
市長の激励のことば
講師の話（桑原貞子先生）
くじ引き
映画
母校の歌歌交歓
閉会

織物振興に百万円

先ず第一に産業の振興でありますが、昨年より不況に遭遇している織物業は今織物組合を中心に、その体質改善のため真剣に取り組んでおりますので、必ずやこの難関を克服し、十日町織物の繁栄をもたらすことを期待しております。その対策費として百万円予算計上しました。また、数年前より冊り角にきております農業の振興につきましては、農業構造改善事業の推進につとめるとともに、十日町市農業の四本の柱であります。

一、米作
二、畜産
三、養蚕
四、林産

の振興について、特に重点的に計上をいたしました。

第二は、国県市道の整備でありますが、国県事業の推進としては、すでに述べた通りであります。市道の改良は辺地の道路改良を大巾に実施するほか、市道予算は相当多額に計上いたしました。

第三は、衛生施設の充実であります。第五は、衛生施設の充実であります。昨年より研究して参りました尿処理施設の建設は川西町と共同で本年中に着手すべく、予定地は廃棄焼却場の側で、将来火葬場を移し、衛生センターにする構想であります。総額は約八千六百万円、二ヵ年継続事業の予定で、現在補助金を国に申請、猛運動中であります。また中条病院を含む北部の電気水道を、本年実施するよう計画しております。このほか、年少者を中心にした青少年の社会教育、婦人団体に対する助成、交通対策協議会の設置等社会を明るくするため、苦しい財政状態の中で積極的な施策を盛りこみました。更に特別会計について申しあげます。国民健康保険事業は、先ほど社会保障の項で申しあげましたとおり、給付率の引き上げに重点をおきました。上水道事業につきましては、昭和三十七年度に漸く待望の給水戸数三千戸を突破し、給水量も上昇を見ておりますが、昭和三十八年度においても、なお年額一千百三十六万円の起債償還をかえておりますので、百万円程度の単年度赤字が予想されます。今後とも水道事業の普及に努め、赤字解消に努力いたしたいと存じます。

以上才出予算の重点事項をご説明申しあげましたが、特別会計を合せ総額で六億八千八百六万八千円の大型予算となりました。なお、今後とも財政運営については、細心の注意を払い、健全財政を堅持しながら、明るく豊かな市政を築くため、全力を傾倒する所存であります。

生活文の募集

○内　容　社会人一年生（職場や家庭の生活）としての体験や感想をつづったもの
○字　数　四百字詰原稿用紙三枚以内
○しめ切り　三月十八日
○あて先　十日町市教育委員会学校町　社会教育課
○発　表　青少年のつどいの日
○記念品　応募者全員にさし上げます
○くじ引き　つどいの当日参加者全員を対象にくじ引きをし当選者に景品をあげます

海上自衛隊航空学生募集

1 採用人員　三十名
2 応募資格　昭和38年4月1日現在満18歳～25歳未満で高校卒
3 受付　昭和38年3月1日～5月25日
4 試験　昭和38年6月2日（於新発田部隊）
5 入隊　昭和38年9月下旬
6 志願手続　新潟地方連絡部（新潟市一番堀通り）
長岡出張所（長岡市南町長岡復興建設部）
高田出張所（高田市南城町高田部隊）
佐渡駐在室（佐渡郡相川町佐渡分室）
7 詳細は新潟地方連絡部へ直接お問合わせ下さい。

昭和38年度測量士・同士補試験・受験講習会の開催

1 講習会の日時及場所
(イ)日時　自昭和三十八年三月二十一日至三月二十四日
(ロ)場所　長野県南安曇郡豊科町県立南安曇農業高校
2 講習内容　三角測量、多角測量、水準測量、写真測量、地図編集、応用測量
3 講師　日本測量協会理事長　園部部氏
東京大学　大島太市氏
4 受講料　一般　八百円、学生　七〇〇円
テキスト代　四〇〇円
5 申込先　長野県南安曇郡豊科町
県立南安曇農業高校　日本測量協会受験講習会係

飯山線大巾に改善

二十五日から始発 長野行き準急〝野沢号〟

飯山線の改善については昨年新潟ゆき準急が実現し、同線輸送増強促進期成同盟会では更に大巾な改善運動を続けてまいりましたが、今回長野ゆき準急も実現し、二十五日から運行されることになりました。これで十日町を中心とした中魚沼地方もようやく上信越と飯山線の接続さ交通の便利もよくなったわけですが、なおデーゼルカーの増車等により大巾な改善が見込まれております。今回の長野ゆき準急のダイヤはつぎのとおりですが、越後川口から十日町までは普通列車で運行し十日町～長野間を他急で走ることになり新潟ゆき準急が実現し、同線輸送増強促進期成同盟会では更に大巾な改善運動を続けてまいりましたが、今回長野ゆき準急も実現し、二十五日から運行されることになりました。これで十日町を中心とした中魚沼地方もようやく上信越と飯山線の接続さ交通の便利もよくなったわけですが、なおデーゼルカーの増車等により大巾な改善が見込まれております。今回の長野ゆき準急のダイヤはつぎのとおりですが、越後川口から十日町までは普通列車で運行し十日町～長野間を他急で走ることになり新潟ゆき準急が実現し、同線輸送増強促進期成同盟会では更に大巾な改善運動を続けてまいりましたが、今回長野ゆき準急も実現し、二十五日から運行されることになりました。これで十日町を中心とした中魚沼地方もようやく上信越と飯山線の接続さ交通の便利もよくなったわけですが、なおデーゼルカーの増車等により大巾な改善が見込まれております。今回の長野ゆき準急のダイヤはつぎのとおりですが、越後川口から十日町までは普通列車で運行し十日町～長野間を他急で走ることになり新潟ゆき準急が実現し、同線輸送増強促進期成同盟会では更に大巾な改善運動を続けてまいりましたが、今回長野ゆき準急も実現し、二十五日から運行されることになりました。これで十日町を中心とした中魚沼地方もようやく上信越と飯山線の接続さ交通の便利もよくなったわけですが、なおデーゼルカーの増車等により大巾な改善が見込まれております。今回の長野ゆき準急のダイヤはつぎのとおりですが、越後川口から十日町までは普通列車で運行し十日町～

【下り】長野発16時54分、森宮野原発18時34分、越後外丸発18時46分、十日町着19時9分（十日町から越後川口まで普通列車）。

森宮野原発9時1分、長野着10時32分。

【上り】越後川口発8時1分、越後外丸発8時11分、十日町発8時25分、越後外丸8時49分、

必ず補充選挙人名簿の申請を

来月は市長、市会議員、県会議員などいくつかの選挙が行われます。選挙人名簿に登録されていないと選挙権があってもこれらの選挙に投票することができません。この選挙人名簿には毎年九月十五日現在で調整するとされ、補充選挙人名簿とされることになる見込みであります。

基本選挙人名簿と選挙のある都度申請により調整される補充選挙人名簿とがあります。この補充選挙人名簿の調整につきましては、後日選挙日が確定次第、各世帯にチラシを配付いたしたいと思っておりますが、つぎの各項により調整されることになる見込みであります。

A、県会議員の分

一、調整日現在＝四月三日

二、申請期間＝四月三日より十三日

三、異議申立期限＝四月十四日

四、異議申立期間＝四月十一日より十三日

五、異議申立決定期限＝四月十四日

六、確定期日＝四月十五日

B、市長並びに市会議員選挙の分

1、調整日現在＝四月二十三日

2、申請期間＝四月二十三、四日から十八年四月四日までに生れた）満二才となった人

4、異議申立期限＝四月二十五日

5、異議申立決定期限＝四月二十七日

6、確定期日＝四月二十八日

投資的事業三十・七％

総額 五億五千四百七十三万円

し尿処理場建設に四千二百万円

去る六日から開かれている三月定例市議会に上程された昭和三十八年度の十日町市一般会計予算案は、五億五千四百七十三万二千五百円で前年度に比べ一億四千九十七万四千七百円の大幅な増となりました。

昨年は次村の合併により当初予算案後に約九千万円が追加されましたので、実質的増は約五千万円であります。

その内訳はまず歳出で、市役所費の一億三百六十六万円で、総額に対し十八・七パーセントを筆頭に、教育費の九千二百五万円、十六・六パーセント、社会及び労働施設費の七千五百四万二千九百円の十三・五パーセント、次いで土木費の六千四百九十六万六千円。以下産業経済費、保健衛生費、消防費、諸支出金、公債費、財産費、議会費、選挙費、予備費、統計調査費の順となっております。

教育費は、十日町小学校の建築がほとんど完了したことにより約四千万円減っております。

また、投資的事業は三十・七パーセントの比率を占め、主な事業としては、

▽し尿処理場建設事業　四千二百十七万円

▽辺地道路改良事業　二千百六十二万円

▽道路、橋梁改良事業　二千四十六万円

▽都市計画事業　一千二百五十万円

▽下条小屋体育館事業　一千二百七万円

▽農業土木、林道事業　一千百八十一万円

などとなっており、一億七千十四万八千円を許上いたしております。

雪おろしがいらない

たて平葺の屋根

昨年十月完成した市内新座小学校三ッ山分校の青館の屋根は勾配二十二度（四寸）で、今冬雪の自然落下が見事成功いたしました。このようにゆるい勾配の屋根で果して雪がぼた～落ちるのかと心配されていたものですが、毎日のように降り続いた一月の気温が一番下ったとき（二月六日）でも最高二十度で、あとは常時ぼた～と落ち、今では地元の市民の方々が「こんなゆるい勾配で雪が落ちるのなら、屋根の改造をしてみたい」と市建設課に経費の問合わせがきております。一応ご参考にお知らせしておきます。【写真は雪おろしのいらないたて平葺の屋根】

春先に多い火事

火のもとにご注意

市内における一、二月の火災発生状況は、市消防署の調べによりますと六件（全焼一、部分焼五）で、昨年にくらべますと一倍の数字を示しております。その原因を調べますと、注意すれば防げるものばかりで、特に石油ストーブの扱い、降雪による煙突の破損などは十分気をつけて不注意による火災を防ぎましょう。

〔次災の原因〕

❶但機の過熱によるもの……三件

❷石油ストーブの転倒……一件

❸煙突の不備……一件

たことは本年中の幸いです。これも防火に対する市民の皆さんのご協力によるものと深く感謝いたしておりますが、現在主要道路が除雪され、消防車の運行もできるというものの、農町、山間部はまだ雪のため出動できませんので、これから春先きの火災発生シーズンには火の取扱いには十分に注意いたゞきたいと思います。

早い通報、少ない損害

火事、急救は一一九番

損害額は百十五万九千八百円でしたが、会館の火災がなかっ

消防署に寄附

ご協力ありがとう

このほど消防署に消防備品費ならびに物件の寄付がございました。

〔現金寄付〕（消防備品購入費）

▽金五万円＝市内本町一、滝沢光義氏（故十日町市消防後援会長）清松氏の香典返し）

▽金三万円＝市内魚田町一、庭野健一郎氏（火災により焼失した工場の復興御祝）

〔物件寄付〕

▽衣類ロッカー……六人用一個、三人用三個（四万四千円相当）

▽衣類ロッカー……六人用二個（二万八千円相当）、会議用机三個（九千円相当）、市内西寺町、警村新蔵氏（故菅村義三氏の香典）

ヘリコプター

先づ新潟～十日町～長野 実現可能

昨年より市民の話題になっております日本中軽離航空のヘリコプターの航空路設備について去る二月六日、日本中軽離航空株式会社の開発長高松文武氏が来市、近況を次のとおり説明しました。

昨年の十二月二十五日資本金六億五千万円で株式会社として発足し、取締役社長に稲垣平太郎氏が就任いたしました。

会社の業務内容は

一、ヘリポートの設置とその管理事業

二、定期航空運送事業

三、不定期航空運送及び航空機使用事業

四、航空機及びその附属品の修理事業

五、その他附随する自動車運送及び保険事業

等であります。

既に基本会議に於ては第一次航空路線として

①長野～松本～十日町～直江津～高田

②新潟～十日町～都城～指宿

③鹿児島～宮崎～延岡

④鹿児島～那覇

⑤鹿児島～那覇～下甑

⑥東京～熱海～下田

⑦尾道～今治

⑧今治～宇和島

⑨今治～高知

⑩宇和島～大分

の十航空路線が決定されており本年就航を目標に会社では努力がすゝめられております。

問題の東京～新潟間路線でありますが各地共ヘリポート設定が未だ決定されておりませんので実現しないわけでありますが最近の状況は、先づ東京基地に

つきましてはヘリポート設置だけでも十数億の資本投資を必要とする悩みがあり、会社ではオリンピック村とワシントンハイツを結ぶヘリポートが国に於て計画されており、この業務担当をするところから将来オリンピックが終了後同基地にヘリポートを設けるよう目下国に対し交渉中とのことであります。それまでは現在東京都に於てハルミ埠頭の浮七号埠立地に九月ヘリポートを建設致しますのでこれを利用することになっております。

高崎基地は冬季が寒り沼田の用地買収がすゝめられているそうです。又前橋に於ても目下基地の選定を行っている状態です。本市十日町基地については近くヘリポート設置の決定を行うよう準備に入っております。

長岡基地は今のところ市財政の面に若干困難があるようです。

新潟基地は信日空の空港の一部を使用することになっておりますが都心より離れ過ぎるところから将来は新潟鵜入場附近に基地を設置するよう市に希望申入れをしております。従って路線はいますぐ決定というわけには行かない状況であります。

特に今次の豪雪の状況から冬期の交通確保にヘリコプターの活躍が深く認識され新潟県に於てはその必要性が高く評価されておりいづれ基地設置の促進も早くなるものと考えられます。

開発次長は十日町基地が早く出

人も車も協力して交通事故をなくしよう

主要道路の除雪ができたとたん、もう交通事故で悲しい死傷者が出ています。残雪のせまい道路、暖気に浮かれがちの陽春には運転者も歩行者も十分注意して交通事故のないようお互いに気をつけましょう。

運転者にお願い「暴走は事故のもと」

①雪道で道がせまい、期間は必要以上に車は出さないよう自しゅくして下さい。

②スピードは規制よりおそ目に安全速度で運転して下さい。

③歩行者や自転車の安全を見きわわて安全運転して下さい。

④禁酒運転、右折、左折の合図は必ず守って下さい。

歩行者にお願い「注意するならケガの前」

①必ず右側の端を注意しながら歩いて下さい。

②道を横切ることは必ず左右をよくみて安全を確めて下さい

③ワキ道から車道に出るときも安全をたしかめて下さい。走って出るのは一番危険です。

④残雪のある期間、早目に安全のところで車をよけましょう。つづいてくる車もありますから注意しましょう。

⑤道で立話し、遊びはやめましょう。

⑥道に物を置くことをやめましょう。

なお新入学児童や園児に安全交通の「しつけ」をお願いいたします。早いうちから父兄もつゞき添って実際に導して正しい安全な歩き方や、車の乗り降りの「しつけ」をお願いします。

「しつけ」の不十分な園児等は初めのうちは泣き叫び迎えをして早目に自主的に正しい安全交通を身につけさせて下さい。

市に感謝状

国民年金の成績がよく

十日町市はどの程度国民年金事業の実施にあたり、事務処理庁長官から感謝状が贈られました。これも保険料徴収員の皆さまをはじめ、被保険者の深いご理解とご協力の賜ものであります。

25日に始発式

準急〝のざわ号〟

十日町～長野間の準急〝のざわ号〟は二十五日朝八時二十五分の始発運転で開通いたします。当日はその準急〝ちおの号〟と同様、十日町駅ホームで始発式を行ってその開通を祝いますが、国鉄関係並びに市では沿線住民の皆さまからなるべく多数見送りしていただくよう呼びかけております。なおこの準急〝のざわ号〟の名称について市と商工会議所では〝十日町市に縁のある名称を〟と「深雪」の名をあげ長野鉄道管理局に陳情したのですが、すでに陳情以前に「のざわ号」と決定されていたため、希望がいれられませんでした。ご応知らせいたします。

来れば新潟～十日町～長野間の就航を先づ行いたいと云っておりました。尚又名古屋と結び新潟～十日町～長野～松本～名古屋路線も実現出来るといっております。長野基地は市鶴賀飛場に現在利用されており、名古屋基地は既に名古屋城の附近へヘリポートが建設中であり会社に近く出資されることになっているのでこれも又実現が早いそうです。

会社への出資については基地の地元投資額約三千万円位希望しておりヘリポートの設置経費に充てるものです。市では商工会議所を通じ各界に呼びかけその投資を依頼し近く打合せを行うことになっております。

ヘリポートのひささは三千坪格納庫、ポートビルなど基地施設を建設し旅客、貨物、郵便物の輸送のほか緊急災害救助用などにも活用されるわけです。

料金、時間等は

①東京～十日町約一時間五分　料金三千七百円位

②十日町～新潟約三十五分　料金一千九百円位

③十日町～長野約二十五分　料金一千三百円位

④長野～名古屋約一時間十分　料金四千円位

緊急の用務には非常に便利となるわけです。